

# さくらに水

(題名は校歌より)

さいたま市立宮前小学校

## 学校教育目標

- ・本気で勉強しよう
- ・心をみがき体をきたえよう
- ・人のためになろう

発行責任者 校長 玉井 康仁

在籍児童数 818人(7/3現在)

## 家庭、地域に支えられて

校長 玉井 康仁

青葉を渡ってくる風が夏を思わせる頃となりました。早いもので1学期は残すところ1か月余りとなり、テレビニュースの話題は、朝顔市、かき氷、帰省など、夏休みの話題が多くなってまいりました。子どもたちは、まとめの月として、夏休みを楽しみにしつつ充実した日々を送っているようです。

さて、6月1日に学校評議員会並びに学校評価委員会を開催いたしました。授業の様子を参観し、学校経営方針や学校運営の重点を説明した後、宮前小学校の学校教育について様々な角度からご意見をいただきました。また、この会議に引き続き行われたいじめ対策委員会では、学校いじめ防止基本方針を基に、家庭・地域と共に取組むいじめ防止策について協議を行いました。

さらに、6月21日にはスクールサポートネットワーク連絡協議会を開催いたしました。このスクールサポートネットワーク連絡協議会は、学校安全ネットワーク連絡協議会も兼ねていることから、各自治体会の会長様をはじめ、青少年育成会、PTA役員、図書ボランティア、防犯ボランティアなどの方のご出席をいただき、各団体からの情報交換や通学路の危険個所について協議が行われました。通学路に関しては、この協議を踏まえ、7月上旬にPTA会長・副会長と一緒に西区役所、北区役所、大宮警察署、大宮西警察署を訪れ、「児童の通学路に関する要望書」を提出し、安全への改善のお願いをする予定です。

このような中、この1学期を振り返ると、本校の子どもたちは落ち着いた雰囲気の中で授業を受け、様々な体験活動を通して成長した姿を見せてくれました。1年生は学校生活にすっかり慣れ、ひらがなや数の学習をして、声をそろえて教科書を読むこともできるようになりました。2年生から6年生は、校外学習で地域探検をしたり、社会科見学で学校外の施設を見学したり、館岩自然の教室では初めて「イワナさばき」に挑戦するなど、様々な経験を積みました。すまいる学級の皆さんも、学級で伸び伸び生活しながら個々の課題を学習し、また、積極的に通常の学級との交流及び共同学習に取り組みました。活動の様子を見ていると、どの学年・学級も「挨拶をすること」「話をしっかり聞くこと」「友だちと協力すること」などが達成できており、子どもたちの“伸び”が際立つ出来事が多かったように思います。

このように子どもたちが素直に育ち、登下校を含め1学期の教育活動が円滑に実施してこられたのも、保護者や地域の皆様が本校の教育方針を理解し、子どもたちを見守り、時には支えてくださったお蔭と、心より感謝申し上げます。

7月21日から、子どもたちが家庭や地域で過ごす夏休みになります。交通事故、不審者に十分注意して、お子様が健やかに、安全に、そして、有意義に過ごしてほしいと思います。8月29日の2学期始業式に、元気な姿で会えることを楽しみにしています。